

平成26年(2014年)8月1日発行

学園創立107周年 学園協議会開催



講演を行う柳澤理事長

校、神田情報ビジネス専門学校、本学教職員、80名が出席した。

第1部は、大川陽康名管理部長への感謝状贈呈(左下記事参照)に続き、柳澤理事長から「学園を取り巻く課題と展望」をテーマに基調講演が行われた。講演では、とりわけ難しいと言われている学校法人会計の平易な解説が行われ、学園として当面の不安はないものの、今後ますます進む少子化の

影響で、学園が学生・生徒の募集に苦慮するようなことになるのであれば、決断して安閑とはしていられないとの指摘があった。

こうした問題を踏まえ、講演の後半部では、東京工業高等学校から駒場高等学校・中学

場高校へと変遷した付属中学・高校の在り方、あるいは学科再編等の可能性も視野に入れた大学の在り方など、長期かつ安定的に学園を経営するにあたって考慮すべき問題についての提議がなされた。すでに大学、中学高校のそれぞれにおいては活発に議論がなされているが、改めて学園全体の問題としての認識が共有されることとなった。

学園協議会終了後はス

柳澤理事長講演
「学園を取り巻く課題と展望」

本学園の創立記念日である6月29日(日)午前11時より、第7回目となる学園協議会が駒場高等学校100周年記念ホールに於いて開催された。

学園創立から107周年の今回は、柳澤理事長、大川名管理部長、大学の波多野学長、中学高校の吉田校長、専門学校の朝山校長をはじめ、役員・評議員等法人関係者、駒場高等学校・中学

大川名管理部長に感謝状



感謝状を贈呈される大川名管理部長(左)

昨年6月に勇退された前理事長の大川名管理部長から、大学院生の就学支援を目的とした多額の御寄付をいただいた。

学園は、創立記念日である6月29日(日)に開催した学園協議会において、この功績を称え、「大川陽康学術振興基金」を設け、末永く顕彰するとともに、「大川奨学金」として大学院進学者の就

学支援を継続していくことを表明、波多野学長から感謝状を贈呈して感謝の意を表した。

②挨拶・講演会では、波多野学長、土井工友会長、丹澤入試室長に続いて、本学共通教育系主任の菊地信一教授から「キャリア

教育について」の講演があった。資料に基づいて、中・高・大のキャリア教育の重要性を分かりやすく解説した。

③グループ討議テーマは「生徒指導」で、参加者は校種にこだわらない自由な意見を出し合った。

④懇親会では、滑川先生から、集い10回目を記念して鼓や三味線の披露「祝いの調」があり、参加者から盛大な拍手が湧いた。

全国から現職教員70名が参加

本学卒業現職教員の集い

6月28日(土)、学生会館ホールで「本学卒業現職教員の集い」(実行委員長・加藤秀次蔵前工業高等学校長)を開催し、全国の中学校・高校等に在職の教員約70名と、大学の教職員・学生

あわせて130名を超えての参加があった。プログラムは次の通り。

①初めに、現職教員研究発表において、茨城県立勝田工業高等学校教諭永井昭夫氏から「単位制工業高等学校の現状と課題」と題して地域連携事業を通して6年間の取り組み報告があり、次に、東京都立多摩工業高等学校教諭の滑川綾治氏より「無駄をなくせ!!12才太陽光発電ハウス」と題する課題研究の指導結果報告があった。地球環境の保護に問題提起する内容であった。

②挨拶・講演会では、波多野学長、土井工友会長、丹澤入試室長に続いて、本学共通教育系主任の菊地信一教授から「キャリア



菊地教授がキャリア教育をテーマに講演



本学からは波多野学長(写真右奥)が出席

は学長代理、ステークホルダーである埼玉県保健医療部長および関係教職員が出席した。議長校は連携大学で持ち回りとする取り決めとなっており、本年度は埼玉県立医科大学が担当した。

まず本事業の中心課題である専門職連携(I-P-W)関連科目の共同開講に向けた取り組みなど、昨年度の活動が報告され、続いて本年度の事業計画が確認された。その後の意見交換では連携事業で支援している4大学

の学生を中心とした埼玉の医療と福祉を考える学習グループについて質問と意見が集まった。大学側の企画によるプログラムの枠を超えて学生がつながりを持てることは有意義であり、持続に向けた支援が望ましいとの認識が示された。

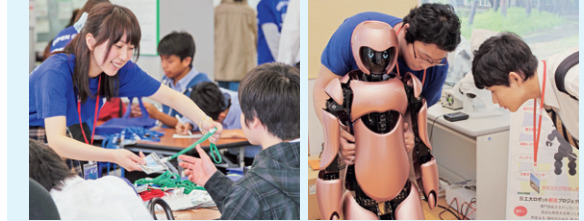
最後に保健医療部長から埼玉県の保健医療施策についての説明がなされた。県の保健医療施策に関する最新の動向は本事業の今後を展望する上で示唆的であった。

彩の国連携力育成プロジェクト 学長会議開催
本年度事業計画などを協議

5月28日(水)、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学と本学で実施している「彩の国連携力育成プロジェクト」の学長会議が大宮ソニックシティの会議室で開催された。各大学の学長また

6/8開催オープンキャンパス実施報告

6月8日(日)、オープンキャンパスが開催された。当日は、昨年を上回る大勢の高校生や保護者の方が参加。平成27年度の入試概要が明らかになり、授業体験や個別進路相談会、保護者説明会、女子向けプログラムなどが好評であった。



オープンキャンパス
NIT 夏のオープンキャンパス

8/2(土)・3(日)・23(土) 9/7(日)
無料バスを運行! 詳細は本学WEBサイトで確認ください。

オープンキャンパス・進学相談会
11/22(土)
各開催日とも11時開始(ランチ付き)
詳細はホームページで確認ください。
事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます。

お問い合わせ・お申込み先: 日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp 携帯URL: www.nit.ac.jp/k

コンテストの参加者を募集しています!!

第6回3D-CADプロダクトデザインコンテスト

エントリー締切 **8/23** 結果発表表彰式 **10/26**

3次元CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマ、CG、自由の3部門。優秀な作品は加工して展示後、お渡します。

作品送付先/お問い合わせ先
3D-CAD プロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL:0480-33-7619 E-mail:nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/

第28回 建築設計競技

提出期限 **8/27** 入賞発表 **9月上旬**

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築デザイン学群の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「公の家」です。

作品提出先/お問い合わせ先
建築設計競技委員会
TEL:0480-33-7681 E-mail:kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html

第8回 マイクロロボコン高校生大会

エントリー締切 **8/30** 開催日 **9/13**

約1インチサイズの小型ロボットによるライントレース競技。前回から初心者でも競技参加しやすいようノビス部門を設置。全員完走を目標に、今夏も学内外で講習会を実施します。

お問い合わせ先
創造システム工学科 櫛橋康博
TEL:0480-33-7718 E-mail:kusihashi@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第18回 スターリングテクノラリー

申込締切 **9/11** 開催日 **11/8**

人間乗車、RC、宙返り耐久、ミニ速度、マイクロ、クワラの6クラスで、自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競います。小・中・高・大学生から一般の方まで参加できます。

申込先/お問い合わせ先
スターリングテクノラリー技術会事務局 松尾政弘
TEL&FAX:048-858-3098 E-mail:stirling@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

環境管理活動の継続性が高評価

全のキャンパス体制が整い、地域の防災拠点として貢献できている点も同様に評価を得た。総括では組織のEMSが継続的に維持改善されていることを確認。特に、「エコ大学ワンキング私立部門2年連続第1位受賞」は、「活動に対するモチベーションアップに繋がっている」との評価であった。

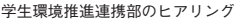
今夏の節電への取り組み

照明や空調の利用を控えて対応

あった。

平成23年の大震災発生

初日は、代表環境管理責任者等への改善状況のインタビュー。また、環境。また、埼玉県の地球



平成23年の大震災発生後、本学では省エネ活動を行ってきた結果、平成22年度比較で約30%の削減。また、埼玉県の地球温暖化対策推進条例も、基準年（平成17年・19年の平均値）比（目標8%削減）に対し約28%削減とした。しかし、昨年度は、校舎の建設もあり基準年比21%削減となった。今夏においても例年

同様「節電と快適な教育研究活動環境の両立維持」をコンセプトに以下の取り組みを行う。●目標値 基準値の15%削減を対象

分停止) ③節電ポスター
による啓発活動●活動期
間は7月1日(火)～9
月30日(火)の9～18時
を対象



●具体的な活動

- ①照明削減の継続
（節電率30%削減／月）
- ②空調機の輪番5分間停止
（30分間の内5

専門職大学院
だより

見渡す能力を身につけよう

大学院技術経営研究科教授・事務長 佐々木 勉

「技術を有するがそれが利益に結びつかない」ことが、多くの日本企業にみられる課題です。専門職大学院では、このような日本企業の課題を踏まえ、技術力を経営成果に結びつけることができるよう、中堅・中小企業の現場で役に立つ考えの方・手法等を中心に指導・研究を行っています。

私が担当している科目の一つ、『日本的経営と中堅・中小企業経営論』では、経営者でも、幹部職員や一般の従業員でも、企業の事業活動を広く見渡すことで、改善すべき点や、その改善のためには他のどのような機能や部門の改革が必要かを判断できる能力を養っています。見渡す対象は

自社の直接的な活動領域だけでなく、最終消費者に製品がいきわたり、消費され、更にはリサイクル・リユースされるところまでを含みます。

この広く見渡すという姿勢とその能力は、事業活動全体だけを対象としているのではなく、生産現場や個人の日常的な業務も対象で、醸成し活用

く、生産現場での創意工夫の徹底とその管理力にあります。5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の徹底はその基本です。

この能力は学生時代からでも養っていくことができます。情報通信機器を自在に操る若い学生の場合、ファイル管理の徹底から始めることをお勧めします。最近の機器は

のかもしれません。自分が保存する文書ファイルや画像ファイル等の種類を見渡し、拡張性も視野に入れて整理の仕方を工夫することから始めたらどうでしょう。

ちなみに、私は今年から専門職大学院の事務長も兼任していますが、今年の目標は「事務の5S徹底」です。

夏の学生自治会主催行事

**今年の夏祭りは
7/31、8/1に開催**



入学当初は戸惑いを見せていた新入生たちも、今ではすっかりキャンパスに馴染み、大学生活最初の試験を迎えた。この、春学期試験が終わると、7月31日(木)から8月1日(金)の2日間、体育会主催の夏祭り大会が行われる。今年も旧図書館跡の広場に櫓を組み上げ、その周辺に模擬店を出店する。会期中は、盆踊りはもちろん、バンドライブなど様々な企画が行われ、祭り一色となる。

定期末試験終了後から9月21日(日)まで夏季休業となるが、その間に、数多くのクラブ団体が夏合宿を行う。

浦和レッズ元社長による
体育会入部促進講演会

6月28日(土)、401教室にて、体育会の主催で橋本光夫氏の講



都ラックヒ部の主将として全国社会人大会でチームを優勝に導いた。講演はパワフルで楽しく、経験談や浦和レッズの裏話などの貴重な話に多くの教職員、学生が真剣に聞き入っていた。

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科

博士前期課程 *環境共生システム学専攻 *機械システム工学専攻
*電子情報メディア工学専攻 *建築デザイン学専攻

博士後期課程 *環境共生システム学専攻 *機械システム工学専攻
(届出設置書類提出中) *電子情報メディア工学専攻 *建築デザイン学専攻

■平成27年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成26年9月20日～9月26日	10月2日	10月10日	平成27年1月22日
二次募集	平成27年2月5日～2月12日	2月23日	3月5日	平成27年3月10日

—— お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係

TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

平成27年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程									
特別奨学生入試	第1期 単 願 第2期 併願可	奨学生には、1年次の授業料の全額(98万円)または半額(49万円)を免除 第1期 書類審査および面接による選考 第2期 筆記試験、調査書および面接による選考 検定料割引制度あり			第1期		第2期					
			申込期間		9/ 1(月)～ 9/ 9(火)		1/ 6(火)～1/23(金) *出願書類を持参する場合には、1/24(土)・26(月)に入試室窓口で出願を受け付けます。					
			面接日と面接会場		9/15(月・祝) 本学							
			内定日		9/17(水)							
			出願期間		9/18(木)～10/ 1(木)		1/31(土)～2/ 2(月) 本学 *1/31(土)～2/2(月)のうち、1日を選択して受験					
			試験日と試験会場				2/ 7(土)					
			合格発表日		10/11(土)		3/12(火)					
			入学手続締切日		第1回	10/21(火)						
専門高校入試 (S 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・国公立大学等との併願に最適	申込期間		9/ 1(月)～ 9/ 9(火)							
			面接日と面接会場		9/15(月・祝) 本学							
			内定日		9/17(水)							
			出願期間		9/18(木)～10/ 1(木)							
			合格発表日		10/11(土)							
			入学手続締切日		1/14(水)							
専門高校入試 (B 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・公募制 *本学会場以外での面接を希望する方は、11/7(金)までに必着するよう、出願してください。	出願期間		10/16(木)～11/11(火)*		第2期 11/25(火)～12/ 9(火)					
			面接日と面接会場		11/13(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/14(金) 宇都宮*・新潟*・長野*・金沢* 11/15(土) 本学		12/12(金) 東京 12/13(土) 本学					
			合格発表日		11/22(土)		12/20(土)					
			入学手続締切日		第1回	12/ 1(月)	1/14(水)					
					第2回	1/14(水)						
			AO入試 AOエントリー入試 AOコーディネータ入試	併願可	AOエントリー入試 ・適性評価(面談・提出課題)および書類審査(エントリーシート・調査書)による選考 AOコーディネータ入試 ・書類審査および面接による選考			第1期		第2期		第3期
出願期間		8/ 1(金)～8/ 5(火)				8/20(水)～9/2(火) *9/7(日)のオープンキャンパスでエントリー可(同日に第1回面談を実施)		11/4(火)～11/13(木) *11/22(土)の進学相談会でエントリー可(同日に第1回面談を実施)		1/30(金)～2/26(木)		
面談日		8/2(土)・3(日)・16(土)・30(土)				8/23(土)・30(土)・9/7(日)・20(土)		11/22(土)・29(土)		書類受理後に連絡		
内定日		9/2(火)				9/22(月)		12/2(火)		3/5(木)		
AOコーディネータ入試の申込期間						平成27年2月28日(土)まで、随時受付						
出願期間		9/ 3(水)～9/ 8(月)				9/24(水)～9/30(火)		12/4(木)～12/11(木)		2/27(金)～3/ 7(土)		
選考						書類審査等						
合格発表日		9/13(土)				10/11(土)		12/20(土)		3/14(土)		
入学手続締切日		第1回				9/24(水)	10/21(火)		1/14(水)		3/24(火)	
		第2回				1/14(水)	1/14(水)					
一般推薦入試 (公募制)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・専門高校(工業科)以外の生徒を対象 ・公募制 *本学会場以外での面接を希望する方は、11/7(金)までに必着するよう、出願してください。			第1期		第2期					
			出願期間		11/ 1(土)～11/11(火)*		11/25(火)～12/ 9(火)					
			面接日と面接会場		11/13(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/14(金) 宇都宮*・新潟*・長野*・金沢* 11/15(土) 本学		12/12(金) 東京 12/13(土) 本学					
			合格発表日		11/22(土)		12/20(土)					
			入学手続締切日		第1回	12/ 1(月)	1/14(水)					
					第2回	1/14(水)						
一般入試	併願可	・筆記試験および調査書による選考 ・検定料割引制度あり *本学会場における受験を希望する方で、出願書類を持参する場合には、1/24(土)・26(月)に入試室窓口で出願を受け付けます。			一般入試A		一般入試B					
			出願期間		1/ 6(火)～ 1/23(金)*		2/ 3(火)～ 2/13(金)					
			試験日		1/31(土) 本学・郡山・水戸・高崎 相・東京・静岡 2/ 1(日) 本学・仙台・東京・横浜 新潟・長野・富山 2/ 2(月) 本学・宇都宮・千葉・東京		2/19(木) 本学・東京					
			合格発表日		2/ 7(土)		2/25(水)					
			入学手続締切日		2/17(火)		3/ 4(水)					
			センター利用入試	併願可	・平成27年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 ・検定料割引制度あり			センター利用入試A		センター利用入試B		センター利用入試C
出願期間		1/ 6(火)～ 1/29(木)				2/ 3(火)～ 2/13(金)		2/16(月)～ 3/ 7(土)				
センター試験実施日		1/17(土)・18(日)				※本学での個別学力試験等は実施いたしません						
合格発表日		2/ 7(土)				2/25(水)		3/14(土)				
入学手続締切日		2/17(火)				3/ 4(水)		3/24(火)				

・専門高校入試（Ａ工業科）および一般推薦入試（指定校）については、2015受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先：入試室 TEL 0120-250-267

KMUTT学生・教員が来学

シンポジウム、施設見学実施

5月21日（水）、タイのキングモンクト工科大学トンブリ校（KMUTT）から、チャオワリット・リムマニーウィッチ副学長を団長に、教員6名と学生12名が来学した。昨年7月に波多野学長が同校を訪問した際に、本学の環境への取り組みについて紹介したことが契機となり、同校で



工業技術博物館を見学する一行

一行到着後、LCセンタールのマルチメディア教室において環境シンポジウムが催された。チャオワリット副学長から同校の取り組みについて紹介があり、続いて同校学生6名が活動内容に関する説明を行った。本学からは原渡施設環境管理課長、鈴木悠将学生環境推進委員長、樋口佳樹准教

授（生活環境デザイン学科）が講演を行った。その後の歓迎交流会には学生環境推進委員会のメンバーも多数参加し、同校の学生と交流を深めた。授（生活環境デザイン学科）が講演を行った。その後の歓迎交流会には学生環境推進委員会のメンバーも多数参加し、同校の学生と交流を深めた。

中国科技大学一行来学

研修、見学で12日間滞在

本学の協定校の一つである中国科技大学（台湾）より、室内設計系の学生67名と教員4名が来学した。一行は6月21日（土）に到着し、23日



Box in Box Contestの様子

（月）に学内見学及び歓迎会が開催された。また、同日には、生活環境デザイン学科の教員による体験授業を開講した。学生らは、黒津高行教授・葛西幸一助手による「Box in Box Contest（小さな箱の制作）」と金野千恵助教による「生活を彩るロシアのデザイン」を受講した。24日（火）は、留学生別科において日本語研修を受講した

金野助教が日本建築学会作品選集新人賞受賞



生活環境デザイン学科の金野千恵

助教が、2014年日本建築学会作品選集新人賞を受賞した。受賞作品名は「向陽ロシアハウス」。

後、宮代町の進修館や笠原小学校を見学した。25日（水）は、建築デザイン学群の設計製図の授業を見学した。その後、日光、六本木、青山、新宿、浅草、両国を訪れ日本の現代建築や歴史的建造物について学んだ。研修は11泊12日に及び、7月2日（水）に帰国した。



向陽ロシアハウス外観

教育改革シンポジウム

発達障害を持つ学生への合理的配慮

第42回教育改革シンポジウムが6月12日（木）に開催された。開催の背景には、平成17年に発達障害者支援法が施行され、高等教育機関での発達障害学生への支援が要請されていることがあ

は、参加者がグループに分かれ、発達障害学生を支援した経験を互いに共有し、その後、質疑応答を含めた活発な意見交換が行われた。

今回は160名近くの教職員が参加し、本テーマへの関心の高さが伺えた。今後の学生支援の一層の充実につながることを期待される。

シンポジウムでは、信州大学教育学部教授の高橋知音先生を講師に迎えた。前半部では、発達障害の基本的な知識から、発達障害学生が修学上抱えるやすい困難までを図解や映像を交えて説明を行った。また、「合理的配慮」という概念の意味と授業場面の中での具体的な教授方法について紹介があった。後半部で



高橋教授による講演

平成26年度出前授業プログラム

昨年度は106回実施、5,000名が受講

平成26年度の出前授業プログラムは全国の工業高等学校及び高大連携校に4月に配布している。出前授業は、全国の工業高校や普通高校などで実施されている。平成25年度の実施回数は106回、受講者数は4,980名と実施回数及び受講者数ともに前年度を上回っている。



出前授業プログラムは下表の通り、計114テーマが用意されている。出前授業プログラムの内容は、各学科の専門性を生かし、高校生たちの疑問に答えるものである。高校生が工学の世界に興味を持ち、その世界に導かれるよう工学技術をわかりやすく説明している。

学 科	テーマ数	内 容
機械工学科	20	「ロボット技術の使い方」など
ものづくり環境学科	11	「家の中の地球資源を考えよう」など
創造システム工学科	15	「モータの豆知識」など
電気電子工学科	17	「のぞいてみよう“ナノ”の世界」など
情報工学科	20	「どこでもコンピュータ」など
建築学科	11	「環境に優しい住宅の設計手法」など
生活環境デザイン学科	9	「生活を彩るロシアのデザイン」など
共通教育系	11	「セグウェイで体感するロボット制御の基礎」など

就職支援情報

「保護者のための就職相談会」10・4に実施

5月24日（土）本学4号館教室にて「保護者のための就職ガイダンス」が、来年度卒業・修了予定の保護者・学生を中心に312名の参加を得て実施され、立ち見が出るほどの盛況ぶりだった。

埼玉労働局・職業安定部長の齋藤明男氏より「埼玉労働局の取組み」、竹内学生支援部長より「本学の就職状況について」説明があった。基調講演は「採用現場で何が起きているのか！我が子の就職活動において親ができること」と題して採用コンサルタントの渡邊剛氏が講演を行った。現在の就職・採用状



採用コンサルタント渡邊氏の講演

況は、親の時代と大きな違いがあること。落ちた本人自身が一番辛さ、みじめさを味わっている。と、親の時代と大きな違いがあること。落ちた本人自身が一番辛さ、みじめさを味わっている。

への進学した場合、就職は有利か」等々の真剣な質問があり、竹内部長・渡邊剛講師より適切な回答を加えてほしい。

属の小林泰太君（建築学科 4年生 日本工業大学駒場高等学校卒）が日本代表として第10回世界学生選手権大会へ出場した。この大会は7月2日



競技中の小林君

を削った。小林君は「コンパウンド」と呼ばれる高精度の照準が可能なアーチェリーを使用する部門に出場し、世界の強豪選手と競い、見事ベスト16という成績を収めた。

工業技術博物館記念講演会・総会講演「工作機械の重要性とその高度化の基本」

後援会新会長に高山一成氏が就任

6月6日（金）の午後、学友会館で工業技術博物館後援会の春季特別講演会並びに第24回総会が開催された。特別講演会では、上智大学名誉教授の清水伸二氏を招き、「工作機械の重要性とその高度化の基本」という題目で講演して頂いた。工作機械の本質・特質から、工作機械システムの基本構成及び機械本体の構成要素、加工性能（精度・能率）への影響因子の最適化、基



総会で挨拶をする吉田会長

ライブラリカフェで憩いのひととき



6月30日（月）、マルチメディア教室にて、ライブラリカフェを開催した。共通教育系の佐藤杉弥教授を招き、「宇宙はプラズマで満ちている!」というテーマで、放電プラズマの実験を交え、お話を聞いた。学生を中心に25名の参加があり、続くコーヒープレイクも終始和やかな雰囲気で行われた。

ホームカミングデーのご案内

15回目を迎えるホームカミングデーが、若杉祭期間中の11月1日(土)に開催される。卒業生を中心に恩師、および現職の職員・教員の出席者は毎年約600名になる。この日にOB・OG会を開催する研究室も多くある。また、懇親パーティーの前には、学内見学ツアーを実施する。大学を訪れる良い機会である。ご家族連れで、または同期の仲間と連れ合っでの参加も歓迎している。



記念樹の植樹

利根川・江戸川強化堤防の森づくり事業
5月25日(日)、埼玉
県が進める「みどり
の再生」の一環とし
て、深谷市から吉
川市までの延長約
70キロ、法面約
340センチに最大
68万本を植栽す
る森づくりで、堤
防の決壊防止を目
的として実施す
る。県民(ポ
ランテア団体等)、
地元市町村、県、
国の四者が協
定を締結し、久
喜市出身の林学
博士「本多清六
博」の森づく
り「事業の仕組
みに基づいて作
業を進めた。場
所は加須市の利
根川土手で、広
さは約5000平
方メートル。当
日は竹内学生支

援部長・鈴木学生環境推進委員長による記念樹(ケヤキ・3.3メートル)の植樹祭を行った後、コナラ、クスギ等16種類、457本の苗木を一本ずつ丁寧に植えた。学生達は全員、大汗を掻きながら作業を行い、終了後には達成感を感じていたようである。今後5年は、苗木の成長を阻害する下草刈り作業を継続して行う予定である。

5月18日(日)、第3回目となる留學生交流ツアーが実施された。留學生たちに日本の歴史や文化に対する理解を深めてもらうことを目的として毎年実施している。今回は48名が参加し、鎌倉と江ノ島をバスで巡った。



鎌倉の大仏の前で記念撮影

利根川・江戸川強化堤防の森づくり事業 学生・教職員43名が457本を植樹

留學生交流ツアー

鎌倉、江ノ島を観光

工友会定時総会 新理事長・監事に5名を選出

6月7日(土)、一般社団法人日本工業大学工友会の定時総会が開催された。

学園から柳澤理事長、大学からは波多野学長が出席した。

1号議案では、新理事長として機械1期の土野一清氏、電気6期の官谷友

宮代会総会 新会長に田中氏が就任

7月5日(土)午後3時より、新潟県月岡温泉の「ホテル摩周」にて宮代会の総会が開催された。当日は、全国から30名以上の会員が参加。議事は慎重審議の上、全て了承された。新会長には

田中則弘氏(第36代後援会長)が就任した。

懇親会は後援会理事と合同で盛大に開催された。大学からも柳澤理事長、波多野学長をはじめ10名の教職員が参画し、大いに懇親を深めた。

シニアチャレンジ講座

学生と共に学ぶ開放講座「シニアチャレンジ講座」の受講生を募集します。対象は県内在住55歳以上の方です。今期は、住宅史、新エネルギー技術と環境、ライフスタイルと住空間、設計・開発基礎演習Ⅱ、情報デザイン、計算可能性と複雑さ、情報英語Ⅱの7科目を開講します。多数の応募をお待ちしております。



普段の授業を学生と共に受講

N-1クリエイイト株主総会 原氏を新社長に選任

5月31日(土)、N-1クリエイイトの第47回定時株主総会が開催された。まず佐藤建夫社長より、当期の事業経過と決算内容に関する報告があり、質疑応答を経て満場一致で承認された。続いて、任期満了に伴い取締役5名が重任され、退任

原田元教授が 瑞宝小綬章を受章

本年度春の叙勲に際し、元工業教育研究所所長・教授の原田昭先生が瑞宝小綬章受章の栄に浴された。

国外出張

◆吉野秀明教授(電気電子工学科)／出張先Ⅱオーストラリア(6/9

地域別教育懇談会開催日程

今年是全国22ヶ所で開催

開催日	主催	開催会場	対象地域
9/ 6(土)	茨城県支部	土浦市・ホテルマロウド筑波	茨城県
9/ 7(日)	四国	高知市・高知共済会館コミュニティスクエア	四国
〃	九州	鹿児島市・サンブラザ天文館	九州
〃	北海道	札幌市・KKRホテル札幌	北海道
9/13(土)	岩手県支部	花巻市・渡り温泉	岩手県
〃	北陸支部	富山市・富山電気ビルディング	富山県・石川県・福井県
〃	山梨県支部	笛吹市・ホテル春日居	山梨県
9/14(日)	秋田県支部	秋田市・秋田温泉さとみ	秋田県
〃	新潟県支部	長岡市・長岡グランドホテル	新潟県
〃	栃木県支部	宇都宮市・ホテル丸治	栃木県
〃	群馬県支部	高崎市・高崎ビューホテル	群馬県
9/15(月・祝)	近畿支部	尼崎市・ホテルホッピンアミング	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
9/20(土)	長野県支部	長野市・ホテル信濃路	長野県
〃	千葉県支部	千葉市・バーディーホテル千葉	千葉県
9/27(土)	青森県支部	青森市・青森国際ホテル	青森県
〃	蔵王支部	山形市・悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県
〃	福島県支部	郡山市・清陵山倶楽部	福島県
10/ 5(日)	近県	大学学友会館	東京都・埼玉県・神奈川県
10/11(土)	静岡県支部	静岡市・静岡商工会議所	静岡県
10/12(日)	東海支部	名古屋市・第一ホテル錦	愛知県・岐阜県・三重県
〃	沖縄県支部	宮古島市・宮古島市中央公民館	沖縄県
10/18(土)	西中国支部 東中国支部	岡山市・岡山空港温泉レスパール藤ヶ鳴	広島県・山口県・島根県 岡山県・鳥取県

※日程および会場は変更になる場合があります。詳細はご自宅に送付される案内をご覧ください。

第31回 宮代町民まつり

8月23日(土)、24日(日)の2日間、進修館周辺で、第31回宮代町民まつりが開催されます。当日は、ミュージックサマーフェスティバルをはじめ、子ども達に大人気のハナ

町代より
だより
190号



編集後記

▼フランスの哲学者デカルトは近代哲学の父とも呼ばれている。彼の著書方法叙説には書物に関する記述が多いのが特徴だ▼その一節に「すべて良き書物を読むことは、過去の最も優れた人々と会話を交わすようなものである」という記述がある。これを用いて言えば「過去の最も優れた人々と会話を交わすには、良き書物を読むことである」となるであろう▼多くの人たちが指摘している「出逢い」が、そこではいつでも実現できるからだ▼わが国でも同じようなことを言っている人物がいる。随筆文学の名著「徒然草」の作者吉田兼好だ。ひとりの燈のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とする。そこよなう慰むわびなると記している▼確かに、見ぬ世の人を友とすることを可能ならしめるのは「書物文」の力に違いない。この小宇宙ではデカルトも吉田兼好とも友人になれる。その喜びを知って欲しい【信】